

## 野菜栽培Ⅱ

講師名	小田島 裕	実務経験等	農業改良普及センターでの普及指導員としての経験を活かし、岩手県における主要品目の基本的な生理・生態から栽培技術への応用を理解するための講義を担当している。
-----	-------	-------	-------------------------------------------------------------------------------

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専攻科目	農産園芸・野菜	必修	2	通年	165	11
使用教科書・副教材	2019年度岩手県野菜栽培技術指針(岩手県)、令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針(岩手県植物防疫協会)、防除ハンドブック菜園の病害虫(全国農村教育協会)、楽しく作ろういわての恵み(岩手県農業改良普及会)、図解でよくわかる植物工場のきほん(誠文堂新光社)等					
授業の目的	岩手県における主要品目の基本的な生理・生態から栽培技術への応用を理解する。また、事例研究を通じて、最新技術をはじめ、経営体や産地の取り組みと課題等について学ぶ。					
授業の到達目標	岩手県における主要品目の生理・生態に基づいた基本的栽培技術を理解する。また、事例研究を通じて、最新技術をはじめ、経営体や産地の取り組みと課題等の実状を把握する。					

月	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	授業説明	授業の概要、事前学習について理解する。(4/17)	2	講義	
4～7月	卒業研究品目の特徴	各自の卒業研究対象品目について、生理的特徴、栽培管理、作業労力、流通・経営などについて調査・整理し、理解を深めた上で、パワーポイント資料を作成し、発表する。	24	講義 演習	PP発表
5月	野菜の育苗施設	果菜類苗の供給体制について学ぶ。(5/15)	4	事例 研究	レポート
	花北地域の野菜生産とGAP	花北地域の野菜生産やGAPの取り組みについて学ぶ。(5/22)	4	事例 研究	レポート
6月	農業法人の環境制御技術導入と生産	環境制御技術を導入し、果菜類を生産している農業法人について学ぶ。(6/18～19)	16	事例 研究	レポート
8月	福島県の野菜生産	福島県における果菜類生産の取り組みについて学ぶ。(8/19)	8	事例 研究	レポート
8～1月	主要野菜品目の特徴	卒業研究対象以外の品目について、その特徴や栽培技術などについて理解する。	54	講義 演習	
10月	県北の野菜生産	県北の果菜類・葉菜類生産の取り組みについて学ぶ。(10/2)	8	事例 研究	レポート
11月	首都圏の育種開発	首都圏における野菜育種の現状などについて学ぶ。(11/11～13)	24	事例 研究	レポート
1月	野菜栽培のまとめ	これまで学んだ野菜栽培技術に関する基礎知識を確認する。	22	講義	
合計			166	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

提出物の内容、出席状況、受講態度により評価する。

筆記試験: 70%

平常点: 30%(出席状況、受講態度)

履修に当たっての留意点等

授業は教科書、自作プリント、学生のレポート資料により進める。受講に際しては、事前に教科書や参考資料に目を通し、復習を行うこと。

天候や野菜の生育状況により、圃場での実習に変更する場合がある。